

## 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>410,828</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>240,863</b>
現金預金	6,308	買掛金	158,093
受取手形	0	未払金	5,858
売掛金	249,816	未払連結納税	10,487
商品	0	未払消費税	0
製品	37,736	未払費用	44,885
原料	43,330	法人税等充当金	0
貯蔵品	7,488	事業税等引当金	0
前払費用	17,561	前受金	648
前渡金	0	預り金その他	2,639
短期貸付金	41,118	賞与引当金	18,251
未収入金	6,417		
仮払金	1,050		
デリバティブ債権	0		
<b>固 定 資 産</b>	<b>519,360</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>11,672</b>
有形固定資産	407,273	退職給付引当金	8,002
建物	138,814	役員退職引当金	3,670
構築物	91,511		
機械及び装置	37,954	<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>252,536</b>
車両及び運搬具	42,081		
工具器具備品	7,273	(純資産の部)	677,653)
一般用土地	89,637		
建設仮勘定			
無形固定資産	10,618		
営業権	0	<b>株 主 資 本</b>	<b>680,321</b>
電話加入権	470	資本金	30,000
システム開発費	10,148		
投資その他の資産	101,467	利益剰余金	650,321
投資有価証券	25,259	利益準備金	7,500
出資金	110	任意積立金	100,000
長期前払費用	1,548	繰越利益剰余金	542,821
繰延税金資産	48,953	(うち当期純利益)	(84,343)
敷金	23,150	<b>評価・換算差額等</b>	<b>▲ 2,668</b>
その他の投資	2,446	その他有価証券評価差額金	▲ 2,668
		繰延ヘッジ損益	
<b>資 産 合 計</b>	<b>930,189</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>930,189</b>

## 個別注記表

(2019年3月31日現在)

## 1. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・時価のあるもの .....

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

## (2) デリバティブの評価基準及び評価方法 .....

時価法

## (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法 .....

先入先出法による原価法

(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

## (4) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産 .....

定率法によっております。

・無形固定資産 .....

定額法によっております。

## (5) 引当金の計上基準

・賞与引当金 .....

従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

・退職給付引当金 .....

退職時に見込まれる退職給付の総額のうち、期末にまでに発生していると認められる額(期末自己都合要支給額)から、中小企業退職金共済制度により給付される額を控除した見込み額を計上しております。

・役員退職引当金 .....

役員退職金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。

## (6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

・消費税及び地方消費税の会計処理方法 .....

税抜方式により処理しております。

・連結納税制度 .....

連結納税制度を適用しております。

・ヘッジ会計の方法及び方針 .....

ヘッジ会計の方法は、繰延ヘッジ処理を採用しております。

ヘッジ方針は、市場相場変動に伴うリスクのヘッジを目的として、実需にもとづく債権または債務を対象にデリバティブ取引を行っており、デリバティブ取引に関する管理規定に基づき取引を行い、ヘッジの有効性の判定を含めたリスク管理を実施しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

## (1) 有形固定資産の減価償却累計額 397,436 千円

(資産別内訳)

建物 76,701 千円

構築物 70,118 千円

機械及び装置 154,071 千円

車両及び運搬具 80,201 千円

工具器具備品 16,344 千円

## (2) 関係会社に関する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 200,014 千円

短期金銭債務 6,524 千円

## 3. 損益計算書に関する注記

## (1) 特別利益の主な項目

ウイングボディ13tトラック下取り 1,000 千円

3次破碎機の転売(佐賀関) 1,890 千円

ミニショベル下取り 300 千円

3,190 千円

## (2) 特別損失の主な項目

白河工場旧事務所跡埋設物除去 21,250 千円

白河工場旧事務所解体費用 3,400 千円

トラックスケール解体費用 1,150 千円

3次破碎機の転売費用(佐賀関) 1,809 千円

固定資産減却簿価(旧事務所等) 11,716 千円

計 39,325 千円

## 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 …… 普通株式 10,000 株

(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

当期の剰余金の配当はございません。

## 5. 1株当たり情報に関する注記

・1株当たり純資産額 …………… 67,765円32銭

・1株当たり当期純利益 …………… 8,434円31銭

## 6. 当期純利益額

当期純利益 …………… 84,343 千円

## 7. 重要な後発事象

該当事項はありません。

以上